ある、獨り農村に限らず現

下の狀勢を以てしては、

▲繁急事|爲的對策は却つて不可い

任し置くに限るとは、

縣|不景氣は世界的である。

は國家としても出來得る限

力説したい機関係の

助力を必要と思ふが。こ

場合の

小手術

は効果の

等しく陛下の赤子であり七

一級受俸者は速に自發的に甘要件は、

町村長も所有知識階級の高

ふすること豺狼より甚し

て居ります。大臣も大將も

知事も代議士も縣會議員も

を幸ひとして私利私慾を逞を望むが如く

を附奥されてある。

飯を食うて生きて居る、

今の政治は飽くまて我利我|だなと洒落れて居る、現代

| 噛り付き主義である今の|の政治家に良心なるものが

私しては相成らね。それに

主義主張がなくてはならぬ費を得ることすら困難であ

|るに、其一方上層上流に在

慨世子曰〈政治家は須ら〈|は失業苦に陷り働いて生活|

濟度困難である社會の下層

あらう、

かっ

る

奴輩は全く

廣告料 一ケ月金三拾 錢

町村新報 社餐行所鴻島縣石城郡磐崎村大字 發行日 每月二回 酒井秀吉 十五日卅日

別色刷 四十錢 一行金二十錢 四十錢 洪水の如き感がある、中 望者なく、ために師範學校 小學校教員は、

ある、然るに今や、教員の り官費を以て養成したので を設け、特に之が優遇を斗

を見後を望んて興論聽從な多數の教員を造るより、師 を轉嫁する質に面白くない ご勝手な名目を付けて責任 に右に聽き左に聞ひ前 | 範校制度に大改革を加へるに投じた、 生で十分間に合ふ、徒らに 要があると思ふ。 卒業者や女學校出の第二

夏主義である、政治の神聖|直面してそんな贅澤して居|を救はんとして自發的の報 |選舉は投賣主義である、糶存在したならは、此國難に||酬を受けて居る者すら國難||實現を期したなら、左程困||吾人はいゝ加減に、其多價の概がある米は安い、繭は 政治は公器にして選擧は公は肥馬に跨り輕車に駕し美日高給者の威俸に反對する ことはてんで夢を見たようを現代我國政治家中の大人る者は政治家だ思想を善導 である自己や黨派の為に一衣美食宏壯なるで宅に住み、民衆があるか双手を舉げて |られるか。吾人は濱口首相||酬を滅額した思想を惡化す||する合理化が出來る。 |意氣揚々として避暑だ寒避|多數民衆の異議ない真の輿|廢合が、最も時代適應の事|外國の例により少くも四五|熾烈なるに及び、徒らに之 僅かに辨當代に當らない報 論である所聞地方の町村長 今色々な方面に合理化が呼ば近に金解禁の影響が如何な種々なる申合せ等を決め一 なりが真剣になって、之をはしむるに過ぎなかった。 難でなく、 |と思ふ、内務省なり地方廳||年間は不景氣なるべきを思||を口にするのみ、實際に於 れて居る、省廳府縣の併合 は暫く措き、 町村財政上に關を括つて居た、今や不景氣安い、野菜は捨値である。 吾人は町村の る波紋を畵き出すかは誰に

然るに最初の減相閣下よ速に閣下最初是な 信する所何、威俸は先つ請ふなより 一匹で何りと信した減俸案を斷々乎 る、國稅等は地方稅に比し 農村疲弊に對する、救濟的 するは政治の要語た濱口首 として御實行なさつては如 地方税の輕威であ 漫語 主義を捨て 潮流を考へ一時的の御都合 坦懐我が國体を惟ひ世界の |否を否とするに何の憚る處|ては、一層不景氣を招來す|らも、一方虛榮を全く捨て がないと云ふ、吾人は虚心 を云はぬがよいで云ふ、 は樞密院は政府でやつた事 ンドン條約を廻りて尖銳化 樞密院と政府との關係が中 者は其職責上、可を可とし に盲目判を押し、 した様に傳へられる。 國家百年の計を 面倒な事

の輕重を論したならは民と物も獲すに了つた

も官の方が重い、治者は|濱口首相よ自己の

治者の不正を矯正する權を斷々乎として行つては如

始めよ

國民は大旱に雲と

して待つ

官民共に悪るい所謂政治的|て居つた、

悪の共犯である。

併し罪俸業は泰山鳴動鼠

な話である、煎し詰めれは|格者大英鰤家であると思ふ

を保ち選擧の公正を期する

的に減額することが面倒な最も重複になるのは緊視である。 よ自己の年俸や恩給を法律で余り大なる負擔でない、 誤らざらん事を願ふもので

初め 志|病氣は仕樣がない、死ぬも|道を行くなら、何も心配は 生きるも勝手だと放つて置いらぬい 國事に忠なる所以でない、

きて居る、

馬車馬的

無能は政治の本体

も同様である、政治は生でない

大警鐘であつた、然吾人是べき事を専らさして、 た偷安の夢を破るべき、一 是は我國の財界 大衝動であつ 府も識者も緊縮節約を大聲 **叱呼して、此の不况に所す** め金解禁を行ふに當

時身心の緊張味を加へが、 版々も困難な問題である不況であるこの一個の仁丹を求むか、あるが、これは如何にして 二分の効果を認めるのみでめ一せぬと云ふことにあるので 宛配布したを同じことで一般民のこまることが不景いものであるから應急資金へ聲

不景氣轉換の 原因

|向つてる事明かである、軒|己が身を立て農村の窮境を 政府の らば立つ能はざるの深淵にの責務である、國家を思ひ |で仕方がない、今や一歩誤||つて奮闘すべきものは青年 火の間に合はね、今や足元にかゝつて居る、 下に火が廻つてからでは消し越えんとする重荷は其双肩 に其火は來て居る、之を安|農村の靑年!! 施設に待つべきもの 全に救ふべ ₹ `` 奮起せト 線に古